

NADESICO

vol.
05
| 2021 |
autumn

Kyushu Women's University



Kyushu Women's Junior College

SCHEDULE ▶ 2021.10 - 2022.3

- 10 October
 - 30(土)・31(日) 華秋祭(大学祭)
- 11 November
 - 5(金) 創立記念日(通常授業)
- 12 December
 - 23(木) — 学生冬期休暇
- 2022
 - 1 January
 - 6(木) — 学生冬期休暇
 - 7(金) 授業再開
 - 12(水) 修了研究成果報告会(専攻科・子ども健康学専攻)
 - 28(金) 後期授業終了
 - 31(月) 卒業論文発表会(人間科学部・人間発達学科)
- 2 February
 - 1(火) 卒業論文発表会(家政学部・人間生活学科)
- 3 March
 - 18(金) 卒業式

※新型コロナウイルスの感染状況に応じて内容を一部変更する場合がございます。何卒ご了承ください。

New Spot

キッチンカー de ランチ

令和3年春から平日のお昼時におしゃれなキッチンカーが出張販売に来ています。ハンバーガーやパン、カレー、ラーメン、から揚げなど種類も豊富。休み時間にはカフェメニューを楽しむ姿も見られます。

日替わりで2~3台のキッチンカーがやって来ます!



特集

With COVID-19

コロナ禍でも 大学での学びは あきらめない

学校法人 福原学園



九州女子大学 九州女子短期大学



学校法人 福原学園
九州女子大学・九州女子短期大学
TEL 093-693-3087
URL www.kwuc.ac.jp

発刊日 令和3年10月15日
※新型コロナウイルス感染症に対する十分な
予防対策を行なった上で撮影を実施しました。

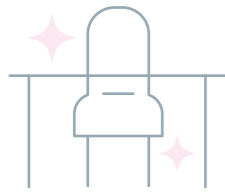


1 各校舎の入口および各教室にはアルコール消毒液を設置。教室にはペーパータオルを常備して、適宜、消毒の際に役立ててもらっています。



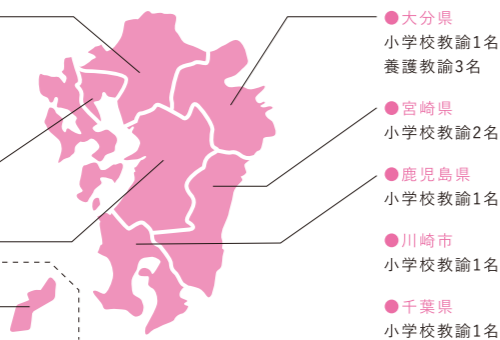
2 3 4 各教員にもアルコール消毒液とアクリルパーティションを配布して、授業の内容に応じて活用してもらっています。また、学生たちが集うラウンジなどさまざまな空間でも、椅子を間引いたり、テーブルの間隔を広めに確保するなど、できる限りの対策を行っています。

いつでもキャンパスライフを楽しむために



令和3年
教員採用試験
現役合格者
52名

- 北九州市・福岡県
小学校教諭34名
特別支援学校教諭2名
中学校教諭「国語」1名
高等学校教諭「家庭」1名
養護教諭1名
- 佐賀県
小学校教諭1名
- 熊本県
小学校教諭1名
- 沖縄県
小学校教諭2名



- 大分県
小学校教諭1名
養護教諭3名
- 宮崎県
小学校教諭2名
- 鹿児島県
小学校教諭1名
- 川崎市
小学校教諭1名
- 千葉県
小学校教諭1名

3密対策にも工夫
抗ウイルス対策や
3密対策にも工夫
本学では、対面授業を再開した昨年の春から継続的に、学生たちが使うキャンパス内の各施設での『抗ウイルス・抗菌作用剤』の塗布を実施してきました。また、教室内の常時換気対策として、サーキュレーターも導入しています。授業については、対面授業を原則としながらも、受講者数の多い授業や、実習性の低い一部の授業については各学科と協議の上でリモート授業

職活動の支援にも役立ちました。昨年は、Zoom等のウェブ会議ツールを用いた会社説明会や、オンライン面接などが広まり、「自宅では対応が難しい」という学生も。そこでキャリア支援課では、WIFIが使える面談室を学生たちが自由に利用できるように開放。予約制で個別に使いやすいように配慮し、必要に応じてノートパソコンの貸し出しなども行いました。

大切にしたいのは、コロナ禍だからといって、学生たちが夢や進む道をあきらめることがないように最善を尽くすこと。きめ細やかな対策を施しながら、安心して学び続けられる環境を、これからも整えていきたいと思っています。

With COVID-19 コロナ禍でも 大学での学びは あきらめない

なかなか収束の兆しが見えないコロナ禍。それでも学生たちは、授業はもちろん、採用試験や就職活動にも向き合い、日々、努力と工夫を重ねながら、大学での新しい生活様式を確立しつつあります。

安心かつ安全に
学べる環境づくりを

振り返れば、令和2年の春、突然に訪れた新型コロナウイルス感染症の第一波。緊急事態宣言に伴い、多くの学校が休校になりましたが、本学では再開した5月から速やかにリモート(遠隔)授業へ移行。しかしながら、社会に出た時に即戦力として役立つ実践的な教育に重きを置く本学では、対面授業でしかできない実習等も多いことから、7月からは感染予防対策を施した上での対面授業と、リモート授業のハイブリッド運用をスタートしました。

初めてのことでゆえに試行錯誤しながらも、真夏の教員採用試験二次対策セミナーや就職活動に懸命に向き合ってきた学生たち。その努力は、教員採用試験への現役合格者52名(九州女子大学・九州女子短期大学合計)をはじめ、かつてないコロナ禍を乗り越えた成果となつてあらわれました。

学生たちの学びを止めないためには、今まで以上にインターネット環境を充実させることが早急に求められました。これを優先課題とし、令和3年3月末までには、ほぼすべての教室や学生たちが集う場にWIFI環境を整備しました。就WIFI環境を整えたことは、就

弓道選手権大会
リモート開催で
見えた可能性



Zoomを使ったリモート大会では、書類の準備や運営など自分たちでしなければならないことも多く、大変な面もあったそうですが、「リモートでも試合ができる!」という新たな可能性の扉も開かれました。

弓道部の部員は現在7名。昨年度は、活動を自粛した期間もありました。「弓道がしたいのにできない、という現状に、悔しさでいっぱいになったこともあります。対策をしながらでも活動が再開できたのは嬉しかったです」と話す部長の甲斐沙希予さん。再開してからは、射場以外でもマスクを着用し、応援の時は大きな声だしは控え、換気の徹底、更衣室も密にならないよう人数制限するなど工夫しながら活動してきました。

そんな中、第69回全日本学生弓道選手権大会の予選がZoomによるリモート形式で行われました。会場は、いつも練習している九州共立大学の弓道場です。十分な感染対策をしながら、大会2週間前には毎日練習と自主練を重ね、当日を迎えました。出場校18校、124名がリモートで参加する中、奮闘しましたが、残念ながら予選敗退となりました。「次回は決勝リーグに進みたい」と新たな目標の的も定まったようです。



練習の時には、マスクの着用や換気はもちろん、部室の入口に消毒液と健康観察表を設置して、体温などを記入しています。ライブを行う時は1週間前から健康記録を取り、ライブハウスにも消毒液を持ち込みました。

これまで毎月1回以上のライブや、他校との交流を行っていた軽音楽部。しかし昨年度はまったく活動することができませんでした。「自粛の日々はとても辛かったです。今はきちんと対策しながら部室で練習できるようになったので、それだけでも嬉しく思っています」と部長の岸谷奈々美さん。何もできない辛さを体験したからこそ、コロナに負けないようにがんばりたい、という気持ちが大きくなっていったそうです。

8月には「コロナ禍に入部した1、2年生にも発表の場を味わってほしい」と思い、軽音楽部の学生だけによる『身内ライブ』を計画しましたが、緊急事態宣言により1カ月の延期を余儀なくされました。それでもあきらめず、「どうすれば全員で安全にライブを行えるか?」と考え、できるライブのカタチを模索しました。部員は現在21名。こんな時だからこそ、音楽を通して楽しい思い出を作りたい、とがんばっています。

こんな時こそ音楽で
思い出を作りたい!
『身内ライブ』への道

With COVID-19
どんな時も
負けない、楽しみたい!
サークル活動

昨年は、コロナ禍による中止や自粛で、サークル活動も思うようにできない日々が続きました。でも、そんな時こそ「コロナに負けない!」とがんばっている学生たちがいます。

2018年度の入試から技能特待生(剣道)選抜を設けてきた九州女子大学。剣道部は現在22名で活動しています。

「部活ができなかった時期は、焦りもありました。稽古が再開されてからは、鏝迫り合いの禁止や、面の下にもマスクを着用するなど、新しいルールによって今までにない疲労感もありましたが、何より部活が再開できたことが嬉しかったです」と、部員の吉田未咲希さんは言います。剣道は、飛沫飛散があることや、稽古が3密になりやすいことから、より厳しい感染対策が求められました。

剣道部は、稽古時でも稽古外でもマスクを着用し、窓はすべて開けて換気を徹底。人との距離はできるだけ2m程度は保つなどの感染予防対策を心がけながら稽古を再開しています。まずは、全員で元気に稽古ができる環境を作ることを第一に、自粛の要請によって部活ができない時は、各自で自主的にトレーニングを行うようにしたそうです。

こうした状況乗り越えて、藤井選手が第55回全日本女子学生剣道選手権大会への出場を決めました。大会はコロナ禍で延期中ですが、活躍が楽しみです。

いざ、全国大会へ!
ガイドラインや
ルールを守って稽古



第55回全日本女子学生剣道選手権大会に出場する藤井千々さん(家政学部 栄養学科3年)

稽古は、公益財団法人全日本剣道連盟の『対人稽古に関する感染予防ガイドライン』に基づいて行われています。準備体操や素振りも原則一列で。稽古時間を通常よりも短くするなど、きめ細かく決められています。





令和3年度の前期を振り返ると、入学式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保護者の方々には動画配信でお届けしました。キャンパスライフでも新しい生活様式がさまざまに生まれる中、各学科のトピックスをご紹介します。

九州女子大学 家政学部

人間生活学科

真夏の採用試験2次対策セミナー

毎年、家庭科教員の現役合格者を出している人間生活学科。その実績を支える恒例の『教員採用試験2次対策セミナー』を夏季休暇中に実施しました。

対象は、教員採用1次試験に合格した4年生。今年の通過者は、北九州市(中学2名、福岡県(中学5名/高校1名)、福岡市(高校1名)、川崎市(中高1名)の合計10名です。自治体によって2次試験の内容はさまざまですが、おおむね①個人面



接②模擬授業③集団討議④小論文⑤実技が行われます。

①④は、まず過年度の質問項目への回答や、出題テーマに対する授業構想を自分たちで書き出すことから始めます。それに添削を受けて何度も書き直した後、ようやく対面での練習に入ります。⑤は被服と調理の実技です。過去の問題と家庭科教科書から傾向と対策を練り、模擬実技試験を行います。これも時間内で適切な提示課題ができるようになるまで、繰り返し行っていきます。

このように時間をかけて反復練習するのは、対策セミナーの目標が『試験への合格』だけではないからです。教員になった卒業生は、「あの夏学んだことは、毎日のHRや生徒指導、実習授業にすぐに使えます。先輩たちにも、教員になった自分をイメージしながらがんばって、と伝えてください」と言います。

今年も暑い中、熱く充実した夏を過ごした4年生たち。合格発表は10月頃の予定です。努力は実る、と信じています。

九州女子大学 家政学部

栄養学科

みやこ町のイノシシで新しい名物カレーを

今年6月、北九州市を拠点に活動するJ2リーグのプロサッカーチーム『ギラヴァンツ北九州』とプレミアリーグパートナー契約を締結した九州女子大学(詳細P.07)。ギラヴァンツ北九州は、地域に根ざしたクラブを目指し、北部九州エリアの6市10町とフレンドリータウン協定も締結しています。その一つである福岡県みやこ町では、近年、有害鳥獣であるイノシシやシカによる農作物の被害が深刻な問題になっていました。

そこで栄養学科では、みやこ町とタイアップして「駆除され、処理・加工されたイノシシ肉とシカ肉を有効活用した商品開発ができないか」と取り組むことになりました。今回挑戦したメニューは、『イノシシとシカのから揚げ』と、大学オリジナルのレトルトカレー『九女復刻咖喱』をベースにアレンジした『イノシシカレー』です。ジビエ肉特有の臭みや硬さを抑えるために下処理を工夫し、から揚げでは複数の味付けを試しました。現在、商品化を目指して試作を重ねています。完成した商品は、ギラヴァンツ北九州のホームゲーム会場や、みやこ町でお披露目され販売する予定です。



read more



九州女子大学 人間科学部

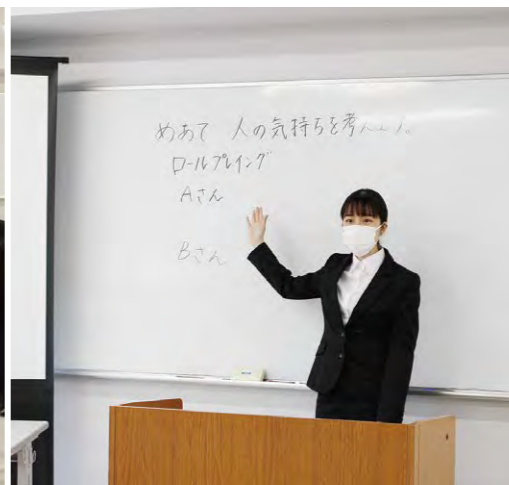
人間発達学科・人間発達学専攻

大切な絵本の思い出を手渡す試み

人間発達学科・人間発達学専攻では、日本学術振興会からの助成を受け、『ART×絵本×ICT 保育・教育者養成プロジェクト』を実施しています。その一環として、1年次学生を対象としたスキルアップ講座Jでは、アクティブラーニング型を取り入れた『絵本からはじまるプロジェクト学習』を行っています。

学生たちは、絵本の魅力や可能性を伝える新たな手法を模索した結果、5月に『私の大切な絵本の思い出』という小冊子を発行しました。

この小冊子では、令和2年度の後期1年次の学生たちが、絵本にまつわる幼少期のエピソードや大切な絵本の思い出を記しています。家族との心温まる思い出や、絵本の世界に没入してワクワクしたこと、絵本を通して知った心の機微、作者から受けた人生のエネルギー。学生たち一人一人が心の中に握りしめていた大切な絵本の思い出をじっくりと読み、気になった絵本のQRコードをスマホで読み取れば、その絵本の関連サイトにアクセスできるように編集されています。大切な思い出を手渡されたことから生じるリアルな共感と、書いた人の背景にある人生への興味に基づいて、絵本との新しい出会いが生まれるという企画です。



read more



read more

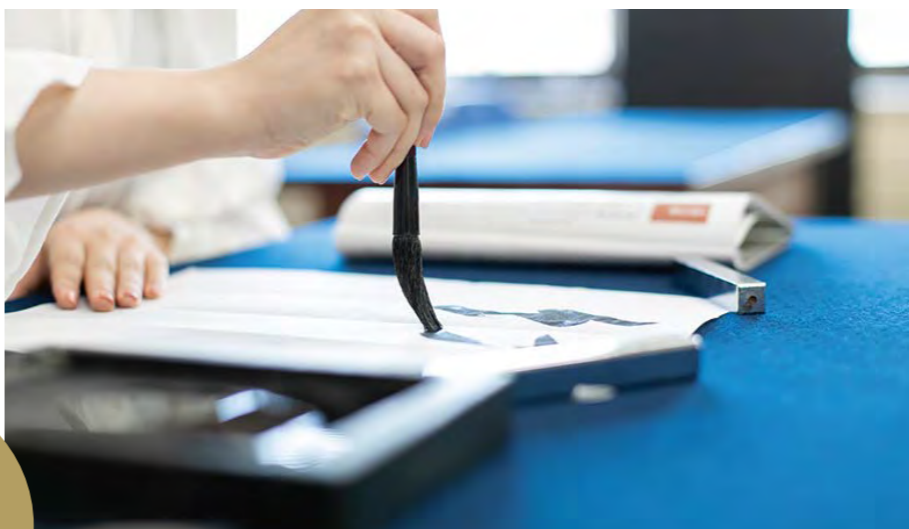


人間発達学科・人間基礎学専攻

『書道の九女』主催の書道展覧会

人間発達学科・人間基礎学専攻には、九州の私立大学で唯一、書道を学びながら国語教師を目指す『国語・書道コース』があります。『書道の九女』と呼ばれるもう一つの理由は、本学が主催する『高等学校揮毫大会』を30年以上にわたり開催してきたこと。これは、九州圏内はもとより、山口や広島、岡山などから毎年約400名程度の高校生が参加する大会で、教職員と学生スタッフが一丸となって運営しています。令和2年度に行われる予定だった『第33回高等学校揮毫大会』は、残念ながらコロナ禍の影響で延期になりましたが、代替え企画として『九州女子大学主催 高校生書道展覧会』を開催しました。広く各地の高校生から作品を公募し、優秀作品の展覧会を本学で行うというスタイルでしたが、書道を志す多くの高校生の心の火を消すことなく開催できたことは喜びでもありました。今年度もコロナ禍により『高校生書道展覧会』を、10月30日、31日の華秋祭(大学祭)にあわせて開催します。

こうした書道の大会は、書道教諭免許取得を目指す学生たちにとって、高校書道の現状に触れるよい機会でもあります。



read more



九州女子大学トピックス

プロサッカーチーム『ギラヴァンツ北九州』とパートナーシップを締結

6月、福原学園の九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学の3大学は、プロサッカーチームで現在J2リーグで活躍する『ギラヴァンツ北九州』とパートナーシップを締結しました。これに伴い、2021シーズンは『ギラヴァンツ北九州』のプレミアムパートナーとして相互の価値向上に寄与する協業を行っていきます。

具体的には、『ギラヴァンツ北九州』のトップチームおよびアカデミーの選手に対する栄養指導を行い、それら選手からのバイタルデータの提供を受けながら栄養実習や研究に活かしていくこと。また、『ギラヴァンツ北九州』主催ゲームにおける託児サービスの運営なども行っています。アシレックトレーナーを目指す九州共立大学の学生に対しては、『ギラヴァンツ北九州』での実習の場も提供される予定です。さらに、三位一体で勝利を目指していくイメージの応援ロゴも作成しました。タイアップすることで、双方ともに新たな進化が生まれることが期待されています。



子ども健康学科

子ども健康学専攻

九州女子短期大学

九州女子短期大学 専攻科

『ギラヴァンツ北九州』の
ホームゲームで託児所を開設

プロサッカーチーム『ギラヴァンツ北九州』とのプレミアムパートナー契約の締結に伴い、本拠地であるミクニワールドスタジアム北九州の3階にある観覧スペース『スカイボックス』内に、子ども健康学科主催の託児所を開設しました。託児所が開設されるのはホームゲームが行われる日です。『ギラヴァンツ北九州』のホームページから託児の予約ができます。すでに、6月20日、7月11日、8月9日に開設され、子ども健康学科の学生のほか、本学教員をはじめ、すでに保育士の資格を取得している子ども健康学専攻の学生3名も参加して、子どもたちをお預かりしました。

回を重ねる中では、子どもたちがもっと楽しく過ごせるように遊具の数を増やすなど、前回の改善点をブラッシュアップして子どもたちを迎えています。結果、子どもたちが率先して遊びのスペースに集まってくる様子も見られました。

スカイボックス内では、子どもたちがリラックスして遊びに取り組み、外では大人たちがゆったりと観戦を楽しんでいます。学生にとっては、日頃の学習の成果を発揮し、保育・教育者としての自信に結びつよい機会となりました。



read more

子ども健康学科



子ども健康学専攻



Open Campus Summer



Voice 1
キャストに挑戦して、以前よりも人前でスムーズに話せるようになってよかった!!



Voice 3
チャレンジ精神を大事にたくてオープンキャンパスに挑戦しました。準備は大変だったけど、やってよかったです。



Voice 2
オープンキャンパスで高校生たちの笑顔を見て、自分たちも癒されました。



学科説明会でのスピーチや質疑応答を担当したり、体験型イベントをサポートしたりするのは『学科サポーター』。見学に訪れる高校生や保護者の方には、大学での学びやキャンパスの雰囲気がかかるだけでなく、生き生きとした先輩たちの等身大の姿を見聞きできると好評いただいています。

学生たちにとっては、オープンキャンパスの運営に参加することで、他の学科との交流が生まれ、学科の枠を超えた友だち関係が広がったりしています。中には「経験を積むにつれて、先輩への指導の仕方や、高校生の立場に立つたよりよい運営を考えられるようになり、自分としても成長できたと思う」「キャストに挑戦して、以前よりも人前でスムーズに話せるようになった」などの声も聞かれました。

前期のオープンキャンパスでは、新型コロナウイルス感染症予防対策として、高校生1名に対して保護者等の同伴は2名までにするなど人数制限を設けたほか、事前予約制を導入。入場前のアルコール消毒や検温、相談コーナーにはパーティションを置くなど、来場者が安心して参加できるようにさまざまな工夫を施しました。

後期のオープンキャンパスは、10月31日(日)を残すのみ。華秋祭(文化祭)との同時開催を予定しています。

九州女子大学・九州女子短期大学の『オープンキャンパス』は、毎年学生たちが主体となって企画・運営を行い、さまざまな工夫を凝らしています。

見学者の受付や、各学科会場への誘導、全体説明会の司会などをサポートするのは『スマイルキャスト』と呼ばれる学生たち。お揃いの青いTシャツを着て、笑顔で皆さんをお迎えます。

元気がいちばん！
オープンキャンパス

NADESICO Watch

